

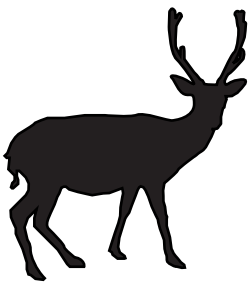


▲鵜川にあるシシ垣（中央の石垣）

シシ垣

高島市の南東には明神崎があり、いにしえからの白鬚神社が鎮座しています。神社の南には鵜川集落が、美しい棚田と琵琶湖、それと里山に囲まれて見事な景観を呈しています。棚田と里山の境界を歩くと、延々と続く野面積みの石垣に遭遇することがあります。（写真参照）石垣の高さは１メートル以上もあり、何の目的のために構築されたのかと不思議に感じます。

その正体は、現代人も悩んでいる獣害（イノシシ・シカ）から、棚田を守る猪鹿垣ことシシ垣です。秋、山から下って来て棚田の稲を食い散らす猪や鹿を防御する目的でシシ垣は構築されています。鵜川周辺では、花崗岩の石材が取れることから、これらの石材を利用して石垣が造られています。よく観察をすると下位は大きい石で上位は小さい石を使っています。それは、ひとりで石材を積み上げる範囲の労働と考えられます。次に築造年代ですが古文書

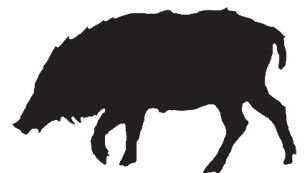


編集者のつぶやき

▼日に日に寒さが増し、いよいよ年の瀬が近づいてきました。皆さん、今年はどういう年だったでしょうか？
▼表紙は、新旭北小学校１００周年記念事業のようす。久しぶりに訪れる母校は、懐かしさを感じるとともに、変化も見られ新鮮でもありました。式典後は、ふれあいまつりが行われ、親子や地域の方で学校内が賑わいました。１００年も前から、子どもたちがこの学校で育っていったかと思うと感慨深いものがありますね。（広報担当Ｓ）

岡 高島歴史民俗資料館
☎（３６） １５５５３

から１７００年から１８００年代にかけて造られたと推定されます。
では、何故このようシシ垣が江戸時代後期に造られたのでしょうか？ 推測されるのは、この時期に猪や鹿が大量に生まれたか、天敵が少なくなったかが、要因と考えられます。シシ垣は西日本から東日本にかけて造られ、その分布から猪や鹿の害が広範囲に及んでいることがわかります。皆さんも里山でシシ垣に遭遇されたら、資料館まで連絡をしてください。調査にまいります。



拡大版

みんなで
575

タウン
トレックス

子育て

子育て、
市長の手帳

消費生活
省エネ

安心安全

健康生活

びょういん
だより

国保年金

元気生活

教育委員会

暮らしの
情報

図書館

窓口だより

歴史散歩